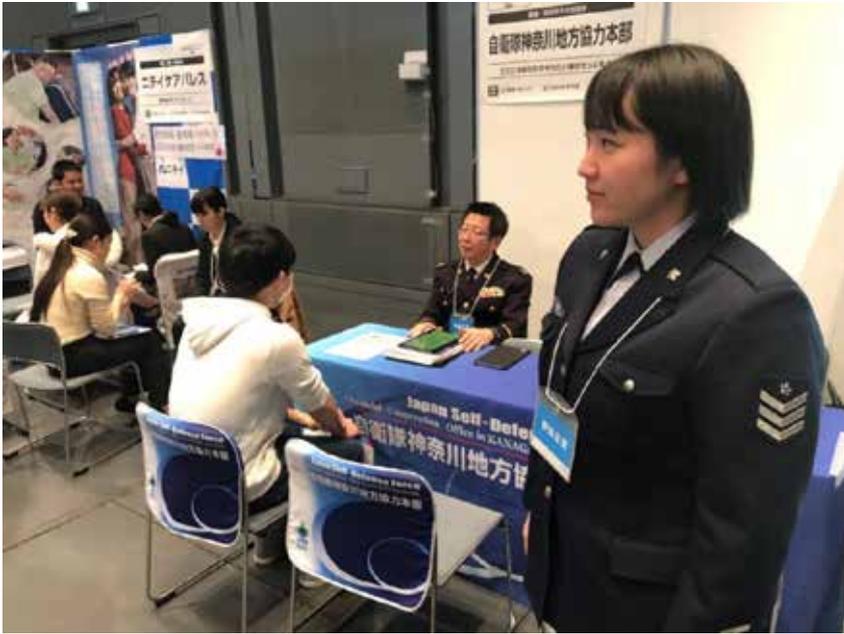


横浜市内で求職者にアピール



神奈川地方協力本部横浜地区隊（隊長 林一陸尉）は転職・就職希望者獲得施策として横浜市内で開催された各種相談会（2月7日・8日みなとみらい、2月13日新横浜）にブースを出展し、地区隊4個事務所（横浜出張所及び市ヶ尾、上大岡、横浜中央各募集案内所）から選抜された広報官をもって求職者及び進学希望者に自衛隊を強くアピールし、あわせて各所長が新人広報官や臨時勤務者に集客要領・説明のコツ等、ブース出展の極意を伝授した。

来場者は、今春に転職を希望する者が多く、その場で志願票を記入する者もいた。また、直接志願票の獲得に結び付く体験をしたことで新人広報官や臨時勤務者のモチベーションもさらに向上し、熱の入った集客・説明をする姿が見られた。

横浜地区隊は「横浜市内での募集成果が神奈川地本の運命を決めることを深く認識し、ブース出展をはじめとした各種募集広報をリードしていきたい」としている。

防災イベントで自衛隊をPR

神奈川地本厚木募集案内所（所長 野田3海佐）は2月23日（日）、ららぽーと海老名（神奈川県海老名市）で開催された「&EARTH 災害に負けない知識を学ぼう」において、航空自衛隊第2移動警戒隊の支援を得て自衛隊をPRした。

自衛隊ブースでは、第2移動警戒隊の水タンク車、野外炊具1号及び小型業務車を展示するとともに、災害派遣における自衛隊の活動を紹介したパネルコーナーを開設した。来場者は、普段は目にする機会の少ない装備品に興味津々の様子で、航空自衛隊員による説明を聞き、記念撮影を楽しんでいた。

会場撤収時には、野外炊具1号をけん引した水タンク車と小型業務車の動く様子が珍しかったようで、多くの来場者がスマートフォンで録画をしながら手を振り見送っていた。

来場者は「一度に200人分の食事を作るなんて驚いた」「隊員が食事を作っていたのですね。何でもできるんですね」と感心していた。

また、台風19号による災害派遣活動や装備品を紹介したパネルを見た来場者からは「入浴支援や食事の炊き出しなど、自衛隊の支援活動を詳しく知ることができました」との感想を聞くことができた。

厚木募集案内所は、「今後も地域のイベントを通じて自衛隊の活動や魅力を積極的にPRし、募集広報や防衛基盤の拡充に努めていく」としている。



野外炊具1号に興味津々の来場者（ららぽーと海老名屋外広場）



記念撮影をする来場者（ららぽーと海老名屋外広場）